

要望活動報告書

実施日	平成23年 1月12日
要望者	< 会津総合開発協議会 > 会長 会津若松市長 菅家 一郎
要望先	国土交通大臣政務官 衆議院議員 津川 祥吾 様
要望事項	<p>下記3点につきまして、緊急要望を実施いたしました。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 当地方の記録的な降雪による市町村道の除雪費の増嵩に対し、平成16年度の臨時特例措置にならない、緊急に財政措置を講じること。2. 福島県管理道路の除雪費に係る所要額を確保すること。3. 今年度、1割削減されている国道の道路維持費を回復させ、早急に手当するとともに、次年度以降の十分な予算確保に努めること。 <p>※ 詳細につきましては別紙をご参照ください。</p>
要望の様子(写真)	 <p>↑ 津川政務官へ要望書を提出</p>

会津地方の豪雪・雪害に関する緊急要望

去る平成 22 年 12 月 25 日からの大寒波に伴う記録的な豪雪は、会津地方に甚大な雪害をもたらした。

金山町では降り始めからの積雪が 146 cm を記録し全国 1 位、会津若松市でも同じく降り始めからの積雪が 115 cm となり同市の観測史上最高タイを記録し、夜通しの除雪作業も処理が追いつかず住民生活に大きな影響を及ぼした。

また、全国のトップニュースでも報じられたとおり、会津坂下町から西会津町にかけての国道 49 号においては、約 300 台の自動車が丸 1 日以上立ち往生を余儀なくされるという長時間の通行止めが発生した。

さらに、その他の路線でも通行がままならない状況が続き、食料品、燃料等生活物資の配送にも支障が出るなど地域社会に大きな混乱を招いた。

現在、当地方においては、住民生活を守るべく懸命の努力を傾注しているが、今後、更なる降雪が予想されることから、その対策に要する経費について大変苦慮しているところである。

については、国による当地方の除排雪に対する緊急的な財政措置を求めるとともに、国道の除排雪の強化、維持管理の徹底を図るよう、下記事項について強く要望する。

記

1. 当地方の記録的な降雪による市町村道の除雪費の増嵩に対し、平成 16 年度の臨時特例措置にならい、緊急に財政措置を講じること。
2. 福島県管理道路の除雪費に係る所要額を確保すること。
3. 今年度、1 割削減されている国道の道路維持費を回復させ、早急に手当するとともに、次年度以降の十分な予算確保に努めること。